	＝（冗長化後ＭＧＷユニット数×ＭＧＷユニット単価＋冗長化後ＭＧＷユニット数×ＭＧＷユニットソフトウェア単価） ＋（冗長化後ＭＧＷＳＴＭ－１ポート数×ＭＧＷＳＴＭ－１ポート単価＋冗長化後ＭＧＷＳＴＭ－１ポート数×ＭＧＷＳＴＭ－１ポートソフトウェア単価）
ＭＧＣ	１　設備量の算定 ⑴　コア局が属する中継区域内の接続呼の最繁時呼数を当該区域内のコア局数で除したものをコア局当たり接続呼最繁時呼数とし、これをＭＧＣ収容率及びＭＧＣ１ユニット当たり最大処理最繁時呼数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）をＭＧＣユニット数とする。 ⑵　⑴のＭＧＣユニット数を冗長化考慮したものを冗長化後ＭＧＣユニット数とする。 ⑶　⑴のコア局当たり接続呼最繁時呼数をＭＧＣ用データベース（以下「ＭＧＣ用ＤＢ」という。）収容率及びＭＧＣ用ＤＢ１ユニット当たり最大処理最繁時呼数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）をＭＧＣ用ＤＢユニット数とし、これに冗長化係数を乗じたものを冗長化後ＭＧＣ用ＤＢユニット数とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により局ごとＭＧＣ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、ＭＧＣ投資額を算定する。 局ごとＭＧＣ投資額 ＝冗長化後ＭＧＣユニット数×ＭＧＣユニット単価 ＋冗長化後ＭＧＣユニット数×ＭＧＣソフトウェア単価 ＋冗長化後ＭＧＣ用ＤＢユニット数×ＭＧＣ用ＤＢユニット単価
ＳＧＷ	１　設備量の算定 ⑴　コア局が属する中継区域内の接続呼の最繁時信号数を当該区域内のコア局数で除したものをコア局当たり接続呼最繁時信号数とし、これをＳＧＷ１リンク当たり信号数で除し（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）、信号区域間リンク分散数を乗じたものをコア局当たり信号リンク数とする。 ⑵　コア局ごとに、次のア及びイにより算定したユニット数のうちいずれか大きいものを当該局のＳＧＷユニット数とし、これに冗長化係数を乗じたものを当該局の冗長化後ＳＧＷユニット数とする。 ア　⑴のコア局当たり信号リンク数をＳＧＷ収容率及びＳＧＷ１ユニット当たり最大リンク数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）